

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	1 理念・目的	点検単位	発達教育学研究科 心理学専攻
点検・評価 年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 発達教育学研究科心理学専攻の理念・目的は、「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」に明文化されている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 毎年度のカリキュラム編成、時間割作成の際に、心理学専攻の理念・目的についてはそのつど見直しを行っている。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 心理学専攻の理念・目的は、「学園要覧」「大学ホームページ」等において大学構成員のみならず広く社会に公表されており、オープンキャンパスや高校訪問、メディアを通じた広報活動においても積極的にその伝達・理解を図っている。また、大学院構成員、特に本専攻に所属する学生に対しては、毎年度更新・編集されている「大学院要覧」や履修ガイダンスやオリエンテーションを通じて、本専攻の理念・目的、教育課程、育成する人材像などについての説明を行っている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 理念・目的が「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に関する規程」として明文化され、広報媒体、大学院要覧等の学内冊子に統一的に掲載されている。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 個別の視点での入力不要
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 本専攻の理念・目的の適切性については、毎年度の時間割編成作業およびカリキュラム改定時の検討作業を通じて、定期的に検証を行い、課題発見と改善に向けた取り組みを行っている。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

<b>一般的なコメント(総評)</b> 大学の理念・目的をふまえ、心理学専攻としての理念・目的が適切に設定され、周知されている。
<b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

<b>意見</b>
-----------

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	4 教育課程・学習成果	点検単位	発達教育学研究科 心理学専攻
点検・評価 年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

発達教育学研究科心理学専攻の学位授与の方針は、「大学院学則第12条」に定める要件を満たし、あわせて別に定める「学位論文審査基準」を満たした者と定められており、「学位授与の方針」には課程修了にあたって修得しておくべき基本的な資質として[知識・理解],[技能・表現],[態度・指向性]・[統合的能力]の観点から具体的に明示している。また、「大学院要覧」および大学ウェブサイトにおいて広く公表している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

発達教育学研究科心理学専攻では、教育課程編成・実施の方針に基づき、心理学の諸領域や実証的な研究手法について、あるいは臨床心理の技法について高度な専門的知識を修得できるよう、各科目の連携・関連を図り、体系的な教育課程を編成し実施している。履修すべき必修科目、選択科目、単位数などは「大学院要覧」に明示・公開されている。また、特に資格関連科目については、履修オリエンテーションや個別相談等のサポートを行っている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

発達教育学研究科心理学専攻では、教育課程編成・実施の方針に基づき、学士課程での学修を基礎として、高度な専門性を身に着けることのできる教育課程を体系的に編成している。心理学の諸領域や実証的な研究手法について、あるいは臨床心理の技法について高度な専門的知識を修得できるよう、各科目の連携・関連を図り、体系的な教育課程を編成し実施している。実証的研究の基礎を学ぶことを目的として、初年次において理論教育をおこない、2年次において演習や実験、研究指導を通して科学論文への実践的取組みを行っている。加え、臨床心理学領域においては、将来心理支援の現場での心理職として十分に活躍できる人材を育てることを目標とし、1年次後期からは多くの演習および学内および学外実習科目が展開されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 今後、国内の心理職関連資格の動向に合わせて適切に対応していくことが課題である。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。**

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 シラバスにおいて、授業の到達目標、授業の概要、授業計画、評価方法、授業時間外の学習、学生へのメッセージ、教科書・参考書の明示、京女AL区分などを明記し、学生が主体的に学習するように設定している。またコースワークとして、講義科目、演習科目、実習科目を設置しており、大学院生はこれらの履修を通じて、修了に必要な単位を取得している。また、論文作成にあたっては個別指導を行ない、修士論文中間報告会や、学会・研究会での発表を通して、リサーチワークによる指導を行なっている。加えて、臨床心理学領域においては学内・学外における実習指導が行われている。大学院生はティーチングアシスタントとして、授業の準備や後輩の指導補助を行うことで自らの学習到達度の確認と指導スキルの向上を図る制度がある。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。**

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 シラバスにおいて、「評価項目」「配分%」「評価の観点」などの評価基準を明らかにし、適切な成績評価に努めている。学生に通知された成績について疑義がある場合の問い合わせ期間を設け、成績評価が適切に行われるように取り組んでいる。 修士論文においては、指導教官である主査1名に加え、専門領域の副査2名を審査員として配置し、審査の客観性かつ厳格性を確保している。最終的な学位授与判断は、研究科委員会での審査を経て学長によって行われる。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 大学院生の学習成果を測定する評価指標としては、各科目の成績および累積GPAで日常の成果について評価し、総合的評価として修士論文を用いている。また、修了後の進路および臨床心理学領域においては卒業1年目に実施される臨床心理士資格の合格率を把握し評価の参考としている。2017年度の心理学専攻修了者2名のうち、1名は心理学関連領域へ就職し、1名は他大学の博士後期課程へ進学した。また臨床心理学領域修了者の卒業初年度での資格合格率は100%であった。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 教育課程およびその内容、方法の適切性については、学生アンケート等の調査を通じて得た学生からのフィードバックをもとに改善・向上に向けての取り組みがなされている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 今後、国内の心理職関連資格の動向に合わせて適切に対応していくことが課題である
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

<b>一般的なコメント(総評)</b> 教育課程は適切に設定されているが、今後、国内の心理職関連資格の動向に合わせて、その適切性について絶えず点検・評価し対応をしていくことが期待される。
<b>改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)</b>

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

<b>意見</b>
-----------

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	5 学生の受け入れ	点検単位	発達教育学研究科 心理学専攻
点検・評価 年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表4「入学者受け入れの方針」において、求める学生像や修得しておくべき知識を明示し、その内容は大学ホームページや募集要項で広く社会に公開されている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」として明確にされ、その内容は大学ホームページや募集要項で広く社会に公開されている。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。 「京都女子大学大学院人材養成・教育研究上の目的に関する規程」として明確にされている内容を、大学ホームページや募集要項等でより広く社会に公開するよう努める。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 学生募集方法、入学者選抜方法は募集要項に明記されており、その方法を遵守して募集・選抜を行っている。近年は本学学部からの進学者が多いが、他大学の出身者も選抜されており、学力考査と面接によって公正に選抜を行っている。2017年度は定員達成率が75%であり、2018年度は37.5%であったため、引き続き募集活動に力を入れる必要がある。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 定員達成率が本年度は75%となっており、昨年度よりは改善したが、引き続き広報等に努力すべきである。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ※個別の視点での記入は不要です。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

**④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

学生募集および入学者選抜については、研究科委員会にて審議・承認を得るという手続きをとっている。また、学生募集と入学者選抜の在り方については、本専攻が掲げる学生の受け入れ方針に基づき、全学入試委員会で定期的に検討されており、検討結果については適宜専攻会議に報告されるとともに、必要があれば審議している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

本専攻では、以上の審議・手続きと内部チェックを通じ、学生募集および入学者選抜が、学生受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っている。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

在籍学生数比率や入学者数比率は十分とは言えない。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

定員のあり方や学生確保の方策について、専攻会議等で検討を行う。

**内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)**

一般的なコメント(総評)

問題点が適切に認識されており、その改善に期待される。

改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

**内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見**

意見

## ◆点検シート(新基準)

評価基準	6 教員・教員組織	点検単位	発達教育学研究科 心理学専攻
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

## ① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

大学として求める教員像は「京都女子大学教員資格審査規程」「京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規」等に明記されており、また「大学の求める教員像および教員組織の編制方針」として大学ホームページでも公表されている。本研究科心理学専攻では、教育内容および研究対象領域を踏まえて教員像を明確にし、教員組織は教育課程および研究領域を踏まえてその編制方針を定め、教員人事(採用・昇格)に当たっている。具体的には、研究科の人事事項調整委員会で検討し、研究科会議で策定した公募採用人事案を、全学の人事委員会にて提案し、審議・了承を得ている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

## ② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

本専攻の2017年度における教員数は9名、年齢構成は60代3名、50代3名、40代3名で、平均年齢は51.4歳、男女比は男性5名/女性4名、教授5名、准教授4名という構成である。専任教員一人あたりの学生数は0.89(学生数ベース)である。外国人教員は所属していない。心理学専攻開設科目総数に占める専任教員の担当科目の比率(専兼比率)は80.4%(開講科目数ベース)となっている。

専攻としてのカリキュラム・ポリシーを踏まえ、心理学領域、臨床心理学領域で構成される教育課程・開講科目に対し、実験心理学、認知心理学、教育心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学等を研究分野とする教員を配置しており、担当科目と各研究分野が整合するものとなっている。教員組織とそれぞれの研究分野については、「大学案内」や「大学ホームページ」に公表されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

2017年5月1日現在、専任教員9名を配置しており、大学設置基準等において定められた必要教員数を満たしている。また、教育課程や研究領域の関連から見て、教員組織は適切であると評価でき、またカリキュラム(担当科目)との関連については、専攻のカリキュラム・ポリシーに基づき体系的に配慮した教育課程の下、各教員の研究領域と担当科目との間に密接な関連があるため、適切であると評価できる。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

教員組織のバランスについて、年齢構成、職位構成についてやや偏りがあるため、さらに30歳代の若い教員の採用を増やすことを目指す。外国人の採用については、本専攻として積極的に門戸を開いているものの、応募者の中に適任者が見当たらないため、採用にはいたっていない。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

教員採用人事において、若年者や外国人の採用に対する積極的姿勢を、研究科の人事事項調整委員会や各選考委員会に周知する。

**③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 教員の募集・採用・昇格に関しては、「京都女子大学教員資格審査規程」および「京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規」に基準が明文化されており、本専攻においてこれらに則って教員人事の審査がなされている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 本専攻においては、教員の募集・採用・昇格に関して「京都女子大学教員資格審査規程」および「京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規」に則って適切かつ透明な手続きによって、教員人事の審査がなされていると評価できる。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 本専攻では、教員の教育面での資質向上のために、全学および専攻独自で実施されるFD研修への参加を積極的に奨励しており、授業公開と参加についても、専攻会議等で積極的関与を促している。本専攻教員の全学FD研修会等の参加状況は、2017年度は100%で、9人全員が参加した。教育活動(授業の分かりやすさ、履修指導、学生の意見のフィードバック等)に対する学生調査の満足度については、「授業アンケート」や「学生生活実態調査」を基に、専攻会議で検証している。教員の研究活動については、教員業績データベースへの入力を教授会等で促しており、教員及び博士後期課程学生の論文等の発表媒体として「発達教育学研究」を毎年度刊行している。 2016年度からは「京都女子大学教員業績評価に関する規程」に基づき、前年度業績の評価を行い、学部長・学長による評価を受けて改善活動に取り組んでいる。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</b>
<b>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</b>

**⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

<b>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</b> 本専攻では毎年実施する自己点検・評価のほか、カリキュラム検討等に合わせて教員組織の適切性について点検・評価を行っている。また、その結果をもとに必要に応じて、専攻会議で公募採用人事案を策定し、全学の人事委員会にて提案をしている。
<b>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</b>
<b>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</b> 特筆すべき事項なし。
<b>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</b> 公認心理師教育の充実に向けた教員組織の在り方について点検・評価する仕組みを検討すべきである。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

### 内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)

若年者や外国人の採用などの課題が認識されており、改善に向けた今後の展開が期待される。

改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

### 内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見